

今年も元気に！ 三加和町で八つの神様ご利益ツアー

～地域の歴史と暮らしに根づく体の神様を訪ねて～



性・腰の神様（七郎神）

神頼みは最後でなくてもいいんです。
毎日、神様はそこにて、手を合わせる人に
微笑んでくれます。

昔は、神棚にお神酒をあげ、今日の無事を
祈る朝から一日がはじまっていたのに
そんな習慣さえ失いつつあるというのは
人は自ら神様と出会う機会を逃してしまったと
いうことなのでしょう。



イボの神様

それはさておき、2005年初春
まずは神様と出会う旅で出かけましょう。
ここは三加和町。
地域に守られ、地域の歴史と暮らしに根づいた
霊験あらたかな神様に出会えるのです。

何々、ここに体にまつわる八つの神様がいる？
目、耳、胃、歯、手足、性・腰、イボ、そして、命。
これはなんともありがたい！

健康祈願！
今年も元気に頑張りたいあなたと
三加和名物『八つの神様 ご利益ツアー』と
まいりましょうか。



歯の神様



ふるさとガイドの本田ケイ子さん

三加和町を知る、楽しむ旅 ふるさとガイドの案内でさあ、出発！

子供の頃、道端のお地蔵さんにいたずら書きをして「バチがあたるぞ」と祖父母にひどく叱られたような思い出がないだろうか。町内にはいくつか祠（ほこら）のようなものがあり、いつも花が供えられていた覚えがある。

何の神様が知らないのに、その前を通ると自然に頭を垂れてしまうのだ。〈神様〉は人々の暮らしの中に息づき、暮らしを守り、地域の歴史や文化を反映しながら、日常的にその役割を担ってきた。安全・平穏を願う心の奥底に流れる日本人のいわば拠りどころとして長い間、受け継がれてきたものである。



高木さんと本田さん

さて、2005の年初春、皆さんはこの1年、どんな年にしたいだろう。

初詣で商売繁盛、家内安全、そして、何よりも健康で無事に1年を過ごせるようにと願ったことでしょう。そこで、KUMAKENが初春におくる特集の舞台は三加和町。ありがたいことに「体」にまつわる八つの神様がいるというのである。一体、どんな神様だろうか。果たして、八つとは…？

まさに「健康祈願」に最適！取材班は『八つの神様ご利益ツアー』に出発することにした。

玉名郡三加和町、山、緑、田園が広がる町の風景は「ふるさとの原風景」とも言える豊かさとのどかさに満ちている。中世、肥後国衆一揆の舞台となった田中城跡、そこで繰り広げられた豊臣秀吉軍と和仁一族の攻防を再現した祭り「戦国肥後国衆まつり」を知る人は多いだろう。泉質がよく湯量が豊富と評判の天然温泉「ふるさと交流センター」やその隣の特産品直売所「緑彩館」は県内外からたくさんの客が訪れている。

さて、『八つの神様ご利益ツアー』とはいえ、八つの神様がどこにあるのか分からない。まずは、三加和町役場で発行している「八つの神様ご利益めぐりエリアマップ」を手に入れよう。三加和町の地図に八つの神様の場所がわかり易く描かれたもので、八つの神様に関する由来も説明されていて、まさにご利益ツアーの必須アイテムである。さらに、力強い味方がいる。三加和町が養成中の観光ボランティア「ふるさとガイド」の方々である。観光客に三加和町の名所を案内しながら歴史や文化を教えてくれる、いわば旅先案内人。地域独特の習慣や言い伝えなど、丁寧に話してくれるという。まずは、八つの神様の基礎知識も含め、役場の方とふるさとガイドの方に会うことに。三加和町企画観光課商工観光係長の高木浩昭さんと「ふるさとガイド」第1号の本田ケイ子さんにお話をうかがった。

取材班 Q : 「八つの神様」が密かなブームになって
いますね？

高木さん A : 三加和町には古くから様々な神様が地域
の方々に受け継がれており、私も子供の
時から知っていました。地元の方が清掃・管理され、習慣的に大切にされてい
ましたが表に出ることはあまりなかった
のです。平成12年に「八つの神様ご利
益めぐり」として町外へ向けてPRをはじめました
が、きっかけは熊本の情報誌で取り上げられてから
ですね。その後、テレビ番組の取材が来るようになり
観光客も増えてきました。密かなブームを呼んで
いるようです。
もちろん、観光客だけでなく、本当に悩みを抱えて
いらっしゃる方もおいでになりますので、町として
も地域の方と同じように大事にしていきたいと思
います。



ふるさとガイド第1号：本田ケイ子さん



取材班 Q : 町としての取り組みは？

高木さん A : 町の素晴らしい財産だと思います。しかし、やはり神様は地域に代々伝わっ
てきたもの。地域の文化ですから、地域づくりのお手伝いという形で案内板の整
備、マップの制作、情報発信などをしています。町としては「八つの神様ご利益
めぐり」に来られる皆さんに三加和町の歴史や文化に触れていただき、町の良
さを体験して頂ければと思っています。

そこで、今、養成しているのが「ふるさとガイド」です。

「八つの神様ご利益めぐり」を中心に、神様に関する地域の謂れや歴史の背景
などを語る人が必要だと思います。地元の方々にお手伝いいただいて、ふるさとガ
イド養成講座を開いています。現在、15人の方々が3ヶ月間6回の研修を受
けていただいております。本田さんはその第1号です。ボランティアですので、
あくまでもガイドさんの都合のいい時ということになりますが評判が良く、本
田さんに続けと皆さん、頑張っておられます。

「ふるさとガイド」第1号の本田ケイ子さんは保育士の仕事を退職され、現在、専業主婦。今
年4月から平均月2回、八つの神様を中心に観光客のガイドをされている。本田さんがふるさと

ガイドに挑戦されたきっかけはやはり、八つの神様だった。

取材班 Q：本田さんがふるさとガイドに申し込まれたきっかけは？

本田さん A：友人に「八つの神様」を案内してと頼まれて、恥ずかしい思いをしました。地元の私が地元のことを知らないことを実感したんです。それではいけないと勉強を始めました。町史を読んだり、図書館に通って歴史を調べたり、地元の年配の方に聞いたりしています。

取材班 Q：ふるさとガイドをして感じたことは？

本田さん A：38年間、ずっと保育士の仕事をしていましたので、世の中にはこういうことがあるのか、いろんな発見をする毎日。素晴らしいと思いました。

もう一つ、ガイドして嬉しいのは出会い。同じ世代の方を案内すると、帰りはもうお友達です。(笑)

何気なく始めたのに、いろんな出会いの場ができて大変、喜んでいきます。とてもやりがいのある仕事です。

「地域で大切にしているものを次の世代に継いでいかななくてはならない」ということを感じています。ふるさとガイドはそれが役目だと思います。

取材班 Q：どんな方がガイドを頼まれますか？

本田さん A：熊本市内、天草、福岡、北九州など九州一円からお見えになります。年代は小学生から私と同じ世代まで幅広いですね。

お正月はウォーキングスタイルで散歩をかねて気軽においで下さるんです。

気軽に三加和町を訪ねて、町の歴史や文化を知ってもらえればと思います。

本田さんの優しい口調のガイドに癒される観光客も多いことだろう。強い味方、ふるさとガイド本田さんの案内でいよいよ『八つの神様ご利益ツアー』に出発！歩いて回れば約4時間、車で2時間。体にまつわる八つの神様とは、一体、どんな神様なのだろう？

読者の皆さんも、誌上「ご利益めぐり」を楽しんでいただきたい。

健康祈願！ 霊験あらたかなる八つの体の神様

三加和町発行の「八つの神様ご利益めぐり」に沿って、回ることにしよう。出発地点は三加和温泉「ふるさと交流センター」である。

①目の神様（岩本宮）

三加和温泉から車で5分足らず『目の神様』に着く。

岸壁に小さなお堂がある「岩本神社」は、地区の人々に「岩本さん」と呼ばれている。古く小さな鳥居が目印。

この神様の謂れは戦国時代にさかのぼる。肥前の軍勢が神尾城（三加和町）を攻めた時、一人の手負いの武士が岸壁の藤かずにひっかけり宙吊りになっていたのを村人が発見、下ろしてやったものの、敵と知り怖さのあまり鋤・鍬で殺してしまったという。その武将の名が岩本。死に際に「男の子を生ません！」と言い、そのたたりを恐れ、殺したことを後悔して葬ったのがこの神社だといわれている。以来、無病息災、家内安泰の神様として祀られ、特に目の病に靈驗あらたかとされる。

昔は目が治ったら、お礼参りとして「目」の字を書いた白布をつるしていた。

本田さんの話によると、この神社にある湧き水を子供の頃、よく飲んでいたら。その水も目に関わりがあるのかもしれない…。



目の神様



目の神様

②イボの神様（自然石）

「目の神様」から車で数分、コンクリート会社の隣に鎮座している巨石。地元では「いぼ石さん」と呼ばれ、イボ取りに効能があるとされる。実は重なっていた石が落ちて2つになっている。そこからイボが取れるという謂れが生まれたのではないかと本田さんさんが話してくれた。

イボを石に直接合わせたり、自分の年齢の数だけ煎った大豆を供え、石の上に患部をすりつける習わしがあるという。願いが成就できた場合、必ずお礼参りをする事になっている。



イボの神様



イボの神様

③胃の神様（石祠）

県道194号線沿いに「権現さん」の看板が建つ。そこに共同で使える「杖」が置いてあるので、必ず杖を持って登ろう。

結構な急勾配の山を200メートルほど登ると、ひときわ土を積み上げたような丘の頂上に石祠がある。

これが「胃」の神様。昔から胃痛の治療祈願に訪れる人が多く、この日もお供え物があった。どじょうを参道途中の池に入れてお供えする習わしがあったそうだが、池は見付けることができなかった。

祭神は徳川家康。胃と家康の関係はよく分からないが、山道を毎日登れば、胃も元気になるのではと考えたりもした。



胃の神様

④性・腰の神様（七郎神・塩井谷神社）

『八つの神様』の中では一番有名で由緒ある神社である。七郎神と書かれた鳥居をくぐると、霊験あらたかな神様の威厳のような重厚な雰囲気伝わってくる。なぜ、ここが性の神様として祀られることになったのだろう。

約800年前、山森阿蘇神社の創建の際に移り住んだのが、祭神として祀られている坂梨七郎右衛門。七郎右衛門は地元で農耕技術を教え、農業の発展に貢献したとされる。特に種の研究開発に努めたとされ、種が子孫繁栄、安産に結びついたと言われる。

本田さんは子供の頃から「おねしょ」が直らない子はここに来れば直ると聞いていたという。子宝に恵まれない人、縁遠き人の参拝が多いようで、全国各地、遠くは海外からも御参りに来ている。子供に恵まれない人の悩みの深さがうかがえる。

祈願する際は、造りもの男根を奉納する習わしで、男根を模った木が並べられている。願いが成就された場合は、男は白色、女性は赤色の布に名前を書いてお礼参りをする風習がある。実際、御霊験を授かった方たちがお礼参りに来て奉納した布が数多く並んでいる。



性・腰の神様



性・腰の神様



お礼参りで奉納された布

⑤歯の神様（墓石）

性の神様のすぐ近く、日本でも珍しい歯の神様がある。墓石が歯の形に似ていることから地元では昔から歯の痛みを鎮めてくれると云われ、地区の人々に信仰されている。

墓石は鎌倉時代から室町時代のものと考えられるが定かではない。歯がうずく時は、白砂か米をお供えして参拝する習わしがある。



歯の神様

⑥命の神様（遠野立神・石祠）

山道の脇に祀られた小さな石祠。この地区の守り神のような存在ではないかと思うほど、清掃管理されていて、信仰の深さが感じとれる不思議な神様である。

昔から「命助けの神様」として、生死に関わる病気の時、一生に一度だけ願いを叶えられると云われている。

地元では山森阿蘇神社を勧請した際、建てられたといわれているが、命に関わる神様がなぜ、この地に建てられたのかは分からない。神様の前を通る川、広がる田畑、農耕の民の心の支えとなってきたのではないだろうかと推測する。



命の神社

⑦耳の神様（柳川由布大炊助の墓石）

1587年国衆一揆の際、和仁一族の田中城攻めに参戦した騎馬の侍大将が柳川由布大炊助。勇ましい大炊助は、家来が「あぶのうござる！」と制止したにもかかわらず、先頭に立ち大手門から攻めこんだため、城から放たれた矢に胸を射抜かれてしまったという。後世、大炊助は生まれつき耳が不自由だったと言われるようになり、村人が大炊助を丁重に葬り、墓を建てて祀ったとされる。

墓前には名前を刻んだ「火吹き竹」が奉納されている。竹の節に小さな穴をあけ、火種を吹き付けるこの道具をもじって、通りが良くなるようにという願いが込められている。

墓の周辺には竹林が茂り、大炊助の武勇伝と戦の中に消えていった不憫（ふびん）さを静かに伝えている。



奉納されている竹の節に穴がつけられた火吹き竹



耳の神様

⑧手足の神様（立山の足手荒神）

いよいよ8番目、手足の神様。立山の足手荒神はその昔、六嘉（現在の嘉島町）の足手荒神を分霊したもの。足手荒神前の小さな池には以前ほどではないが、「竜神がくれた乳の水」として語り継がれる白い水が湧き出ている。

手足の痛みを和らげたり、足が速くなると言われ、地元の信仰もあつく、今も各地から多くの方が訪れている。



手足の神様

『八つの神様ご利益ツアー』は 受け継ぎたい地域文化が見えてくる心の旅

『八つの神様ご利益ツアー』を終わると不思議な充足感を感じた。それは、悲惨な事件が相次ぐ今、心の拠りどころを失いつつある人間に何が必要かを教えてくれたようでもある。宗教という枠ではなく、暮らしの中で育まれる思いやりや慈悲の心、互いに幸せに生きたいと願う、子孫により良い時代を引き継ぎたいと願う、いわば当たり前の人間の心なのである。

三加和町には、昔の人が育んだその心が「八つの神様」として息づいてきた。

ふるさとガイドの本田さんが言った「次の時代に引き継ぎたい」その言葉に込められた地域文化への思いを、八つの神様をまわる道すがら、多くの方が感じるだろう。



■八つの神様に関するお問い合わせ 三加和町役場 企画観光課 0968-34-3111

■2月13日開催！『戦国肥後国衆まつり』

400年の時を超えてよみがえる戦国時代絵巻『戦国肥後国衆まつり』が今年も三加和町町民広場で開催されます。肥後国衆一揆の激戦地・田中城で繰り広げられた秀吉軍と和仁一族との攻防が再現されるエネルギッシュなお祭りです。

日時：平成17年2月13日(日) 9:30～

場所：三加和町町民広場

特別出演：葦北鉄砲隊

問い合わせ：三加和町役場 企画観光課（同上）

